

学校教育目標 「未来を拓く力」の育成

2026. 4. 30

「八幡小で成長した」
「八幡小で働きたい」
の聲が聞こえる学校に



【校訓】

「やさしく 正しく たくましく」

【目指す児童像】

- や：優しく思いやりを持ち、自他を大切にする児童 (豊かな心)
- は：はつらつと目を輝かせながら、自ら学ぶ児童 (確かな学力)
- た：たくましく、心身ともに健康で、粘り強くやり抜く児童 (健やかな体)

育てたい
〔3つの力〕

主体性
・
考動力
・
協働性

学校の成長

教師の成長

児童の成長

【目指す学校像】

「働きやすさと教育効果の、バランスの取れたシステムを確立した学校」

- ①児童と向き合う時間の創出
 - 午前中5時間授業の日常化
 - DXの活用による会議の簡素化
 - 学校行事のさらなる精選
- ②個の課題に対応するシステム構築
 - 人事面談を生かした人材育成
 - 低・高学年主任の設置

【目指す教師像】

「やさしく、はつらつとやる気にあふれ、(子どもを)たいせつにする教師」

- ①校内研修の充実
 - 「くまもとの学び」「あらおベーシック」の実施
 - 「マイミッション」模擬授業研修による個々の指導力の向上
- ②教師の人権感覚の醸成
 - 人権に関する基礎知識
 - 各種研修等への参加

- ①確かな学力の向上 ～学びづくりP～
 - くまもとの学び・あらおベーシックの推進
 - ICT機器の効果的な活用
 - 各種調査の分析
- ②豊かな心の育成 ～心づくりP～
 - 人権尊重の精神の醸成
 - 体験活動の充実
 - 規範意識の育成
 - 故郷の良さを知る
- ③健康・体力の向上 ～体づくりP～
 - 体育授業・行事の充実
 - 礼儀や生活習慣
 - 安全で規則正しい生活態度
 - 食習慣・運動習慣

【令和7年度の取組から】

児童

令和7年度は、3つのプロジェクトの取組により主体性、協働性、自律性を高め、児童の活気ある活動を実現することができた。令和8年度は、考動力の育成にも力を入れていきたい。

教師

令和7年度は、校内研修の充実により、個々の授業力や研究意欲、同僚性を高めることができた。令和8年度は各種調査の結果を踏まえながら、さらに指導力を高めていきたい。

学校

令和7年度は、日課の工夫やDXの活用により、児童と向き合う時間や事務整理、教材研究の時間を生み出すことができた。令和8年度は地域や保護者との連携にも力を入れていきたい。

外部リソース

- 外部リソースの活用
 - 外部講師からの指導、評価、助言
 - 教育論文等への応募。

行政

- 行政との連携
 - 熊本県教育委員会
 - 玉名教育事務所
 - 荒尾市教育委員会
- 児童の課題解決のための連携
 - SC・SSW
 - 児童相談所
 - すこやか未来課
 - 荒尾警察署

家庭

- 家庭との連携
 - 育てたい〔3つの力〕の共有
 - 学校・学級だより、ホームページによる情報公開
 - 教育相談の充実
 - 「親の学び」による情報発信
 - PTA活動の充実

地域

- 地域の行事への参加
 - 風流・節頭ガイド
 - やはたのみまつり
 - 子ども消防団
- 地域人材の活用
 - 交通指導員
 - 読み聞かせ
 - 書き初め

八幡小学校CS
～学校運営協議会～

- 社会に開かれた教育課程の実現
- 地域とともにある学校へ
- 3つのP〕についての検討